

## 令和7年度第6回益田市地域公共交通活性化協議会 審議結果

益田市地域公共交通活性化協議会 設置要綱	団体名	役 職	審議結果 (承認：○、不承認：×)
益田市長又はその指名する者	益田市	副市長	○
公共交通事業者	石見交通(株)	常務取締役	○
	益田地区タクシー共同組合	理事長代理	○
	西日本旅客鉄道(株)	益田駅長	○
道路管理者	国交省浜田河川国道事務所	副所長	○
	益田県土整備事務所	統括調整監	○
	益田市建設部	建設部長	○
公安委員会	益田警察署	交通課長	○
住民又は利用者の代表	益田市連合自治会長会	会長	○
	北仙道の明日をつくる会	事務局	○
	ときめきの里 真砂	学び合い部会長	○
	二条里づくりの会	会長	○
	匹見上 清流の郷	会長	○
	二川地区連合自治会	会長	○
	とよかわの未来をつくる会	会長	○
学識経験者	広島経済大学	准教授	○
島根運輸支局長又はその指名する者	中国運輸局島根運輸支局	首席運輸企画専門官	○
島根県知事又はその指名する者	島根県地域振興部交通対策課	課長	○
その他益田市が必要と認める者	島根県交通運輸産業労働組合協議会	事務局長	○
	(公益社団法人)益田市医師会事業本部	事務局長	○
	益田商工会議所	事務局長	○
	美濃商工会	事務局長	○
	益田市小中学校校長会	鎌手小学校長	○
	社会福祉法人益田市社会福祉協議会	総合企画部長	○
	一般社団法人益田市観光協会	事務局長	○
	益田市産業経済部	産業経済部長	○
	益田市教育委員会事務局	教育部長	○
	益田市福祉環境部	福祉環境部長	○

(別添) 第6回協議会における委員からのご意見とその対応について

No	ご意見の内容	対応（事務局）
1	<p><b>【資料1-1⑤】</b></p> <p>各系統の達成状況の①は各系統の実績であるが、②③は全体についての数値となっているので、②も「全体の収支率」③も「全体の市年間負担額」と記載してある方が分かりやすいのでは。</p>	<p>ご意見のとおり、資料を修正いたしました。</p>
2	<p><b>【資料1-1⑥】</b></p> <p>「引き続き」とあるが、③のところに、それまでのニーズ把握の実施について記載されるか、あるいは、⑥の2つ目の「イベント等に参加し」の前に移動して、「引き続きイベント等に参加し」(③のところに記載がある) とするか、いかがでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、以下のとおり資料を修正いたしました。</p> <p>「お客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行う。引き続きイベント等に参加しPR活動を続ける。」</p>
3	<p><b>【資料2】</b></p> <p>ノンステップバスの導入については、目標の40%以上を上回って導入されているということでA評価でよいと思うのですが、その元の計画で目標を「40%以上」に設定している(していた)のが低すぎたような気がするのですが…</p> <p>⑥で「引き続き計画に沿って」とありますが、導入率95.6%になったので、次年度は計画(目標値)を見直しも検討できます。</p>	<p>ノンステップバスの導入率について、実情に見合わない目標値を設定しておりました。令和8年度計画については、既に中国運輸局へ申請をしておりますが、見直しを行う方向で検討して参ります。</p>
4	<p><b>【全体をとおして】</b></p> <p>事業評価については、輸送人員を見ても目標値に達しない路線もあったが、高齢化が進んでいる現状を踏まえると、がんばった結果と思う。収支率を見ても、今後もコストが増える状況は利用者が増加しないと増える傾向であり、利用者にも負担(運賃値上げ)をしてもらわなければ、公的負担は今後も増えると思います。今後の持続性を考え</p>	<p>益田市内の地域公共交通が持続的に維持できるよう、今後も引き続き協議会の場等で協議させていただければと思います。</p>

	<p>れば、運賃値上げは、検討すべきと考えます。</p> <p>※4条路線（定時定路線）では、一定のコストがかかる為、効率のいい運行が求められるが、半面、利便性を損なう恐れがあり、なかなか節減ができないのが、現状。</p>	
5	<p><b>【事務局に対して】</b></p> <p>会議資料の受付が年明けでした。なので十分に資料を見るできません。資料を見るための時間を考えて期限を設定していただきたいです。</p>	<p>この度は、審議いただく期間が短くなり失礼いたしました。必要な情報が揃うまで時間を要したためやむを得ない状況でしたが、今後は余裕をもって審議いただけるよう準備を進めてまいります。</p>